

健民海浜公園の平成18年度管理状況

施設所管課	石川県県央土木総合事務所
指定管理者	T & A 有限責任事業組合 代表者 (株)西インターレストハウス 山田 輝雄
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「作業員意識マニュアル」を作成し、従業員に徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・意見の聴取(延21件) ・利用者アンケートの実施(延110件) その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への無料貴重品ロッカーを設置
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施(プール開催に伴う) <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターショー開催(延4回参加人数6,716人) ・自然素材工作教室(参加人数1,821人) ・無料循環バスの運行 施設の情報提供、広報、広告 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを開設 ・プールポスターを小中学校等へ配布(延641枚) 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地元JA、北陸農政局などとのタイアップイベント開催
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：プール施設(プールサイド、トイレ、ゴミ箱)は、1日数回実施 保守点検：プール設備・水質、ウォータースライダーなど 警備：園内巡回3~4回/日、プール監視(14~25名/日) 小規模修繕：プール設備(ポンプ、塗装、立体遊具、手摺りほか)
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアル、プール監視員安全管理研修ほか 個人情報の管理状況：プライバシーマークを取得し実践

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H17年度 (参考)	H18年度	前年度比	増減理由
全体利用者数(人)	107,000	129,000	121%	集客イベントの開催等の営業努力と、8月の好天による。
プール利用者数(人)	64,190	77,553	121%	

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
プール	27,529 千円	0	
駐車場	8,023 千円	0	
ボート	300 千円	0	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	49,300	人件費	18,383
利用料収入	35,852	光熱水費	6,943
自主事業収入	9,888	修繕費	12,054
		緑地管理費	31,045
		その他	25,159
合計	95,040	合計	93,584
収支差額	1,456		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 18 年 4 月	作業員の挨拶が改善した	
平成 18 年 8 月	監視員の態度が悪い	一部利用者から不満のあった監視員について教育強化する一方、安全のため毅然とした態度がとれるよう指導
平成 18 年 8 月	イベントを 56%が評価する一方、「わからない」が 27%あり分析予定	
平成 18 年 8 月	ロッカーの故障の苦情	状況確認の上、一部ロッカーを使用禁止

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 8 月	ウォータースライダーを滑り中に立ち上がり、支柱に頭部を強打	適正利用喚起の注意表示付きクッションを設置

その他報告事項など

他県のプール事故を受けて実施した緊急点検等の対応は、迅速かつ適正に行われた。
--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取り組みが行われているか。	A	・利用者アンケート調査、作業員意識マニュアル等の活用による意識改革等によって、利用者の声を運営に活かすことでサービスの質を向上させている。
利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	・利用促進につながる自主イベントの実施や、積極的な各種広報活動の結果、提案のあった利用者目標 15%増を上回る 21%増となった。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・プール等の施設管理技術を活かし、仕様書等に基づく適切な管理を実施。今後、より施設の効用を高める取り組みに期待。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、非常時訓練(地震・火災・プール事故等)監視員への指導がなされ、安全対策が適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・利用者からの苦情への対応、個人情報保護は適切である。
総合評価	A	・本公園の主要施設であるプールの管理、運営、活用について、民間のノウハウを遺憾なく発揮し、各種自主事業の開催により、誘客効果を上げており、今後もさらなる利用者増が期待される。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

- ・本公園には貴重な野鳥の森があるが、安全性・景観向上の面から、大池外周、公園外縁部の樹林地など適正に管理すべき場所があり、自然保護団体等と調整を図りながら取り組む必要がある。